本書は製品とともに大切に保管してください

ＭＮ８１０３－７９
増設バッテリ
取扱説明書

まえがき

このたびは、MN8103-79 増設バッテリをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本書は、MN8103-79 増設バッテリ（以下「本装置」と呼びます）を正しく、安全に設置・使用するための手引きです。本装置を取り扱う前に必ずお読みください。また、本装置を使用する上でわからないこと、不具合が起きたときにもぜひご利用ください。本書は、必要な時にすぐに参照できるように必ずお手元に保管してください。

本装置を取り付ける MN8103-80 ディスクアレイコントローラ(1ch)の取り扱いについての説明は、MN8103-80 に添付のユーザーズガイドを参照してください。また、本装置を取り扱う前に「安全上のご注意」、「使用上のご注意」を必ずお読みください。

856-840047-279-0

商標について

Microsoft とそのロゴおよび、Windows2000 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
MegaRAID は米国 LSI Logic 社の登録商標です。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
(4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意 ～ 必ずお読みください ～

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	指示を守らないと人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示しています。
⚠ 注意	指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示しています。

お守りいただく内容の種類を絵表示で区別し、説明しています。

△	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
⃠	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (分解禁止)
●	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

注意の喚起

	特定しない一般的な注意・警告を示します。		高温による障害を負うおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		分解・修理しないでください。感電や火災のおそれがあります。

行為の強制

	電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。

安全にお使いいただくために、次に示す注意事項をお守りください。

⚠ 警告	
	本書に指示がない限り絶対に分解・修理・改造を行わないでください。故障の際はお買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
	本装置のバッテリにはニッケル水素電池を使用しています。破裂するおそれがありますので、以下の事項を必ずお守りください。 ・ 火や 100℃近くの高温に近づけないでください。 ・ 水に浸さないでください。 ・ 分解しないでください。 ・ 当社指定以外のバッテリを使用しないでください。 また、バッテリ交換の際は、「第 2 章 運用・保守」に従ってください。 本装置のバッテリに貼付しているバッテリラベルには警告ラベルが併記されています。 警告ラベルは絶対にはがさないでください。
	本装置の取り付けは、基本装置の電源を切断し、電源コードを抜いてから行ってください。たとえ電源を切っても、電源コードを接続したまま装置内部の部品やケーブル／コネクタに触ると感電したり、ショートにより火災を起こしたりすることがあります。また、ぬれた手で本装置の取り付け・取り外しを行わないでください。故障するばかりでなく、感電するおそれがあります。
	本装置を MN8103-80 に取り付け後、万一、煙・異臭・異音などが生じた場合は、ただちに POWER スイッチを OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	ラックマウントモデルの基本装置への取り付け・取り外しは、基本装置が不安定な状態で無理に行わないでください。基本装置が落下し、怪我をするおそれがあります。 尚、取り付け・取り外しは保守サービス会社へ依頼することもできます。

⚠ 注意	
	基本装置の電源コードはプラグ部分を持って引き抜いてください。コード部分を持って引き抜くと、コードの被覆が破損し、漏電や感電のおそれがあります。
	基本装置の電源を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。
	本装置のそばでは携帯電話や PHS，ポケットベルの電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因になります。

使用上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

本装置を使用するときに注意していただきたいことを次に示します。これらの注意を無視して、本装置を使用した場合、資産(データやその他の装置)が破壊されるおそれがありますので必ずお守りください。

- **本装置は大変デリケートな電子装置です。本装置を取り扱う前に、基本装置の金属フレーム部分などに触れて身体の静電気を逃がしてください。本装置の取り扱いは端の部分を持ち、表面の部品やコネクタと接続する部分には触れないようにしてください。また、本装置を落としたり、ぶつけたりしないでください。**
- **本装置に使用されているバッテリ（ニッケル水素電池内蔵）の廃棄については各自治体の廃棄方法に従ってください。廃棄に関しては「廃棄について」を参照して下さい。**

本書は、Windows2000 などのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザを対象として記載されています。

梱包箱の中身について

梱包箱の中には本装置以外に色々な付属品が入っています。「3.構成品」の章を参照し、全ての付属品が揃っていることを確認してください。万一、足りないものや損傷しているものがあった場合には、本装置をご購入された販売店にご連絡ください。

製品寿命について

本装置にはバックアップ用のバッテリが付いています。バッテリの寿命は使用環境や運用条件により異なりますが、おおむね 2 年、または充電回数が約 500 回となっております。本装置の設置から約 2 年後（設置時期は基本装置および本装置に貼り付けのバッテリラベルに記載）、または充電回数 500 回を目安に交換してください（充電回数の確認は「第 2 章 運用・保守 4.バッテリの交換手順」を参照してください）。交換については、本装置をご購入された販売店もしくはご契約されている保守サービス会社へご相談ください。

第三者への譲渡について

本装置を第三者に譲渡（または売却）する時には、必ず本書を含む全ての添付品をあわせて譲渡（または売却）してください。

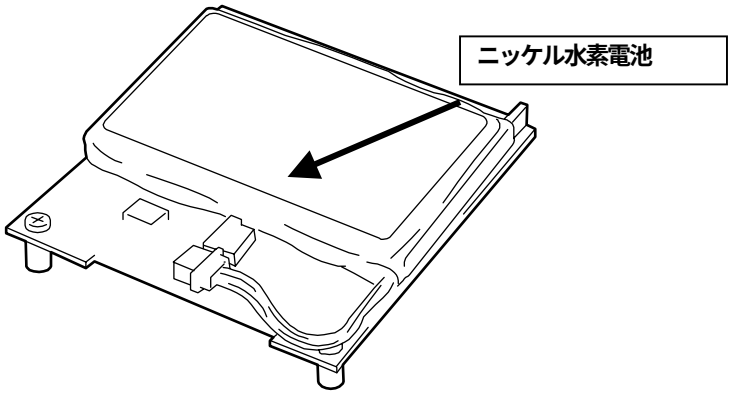
輸送について

本装置を輸送する際は、「第 1 章 概要」を参考に基本装置から本装置を取り出し、本装置とすべての添付品を購入時の梱包箱入れてください。

廃棄について

本装置は MN8103-80 ディスクアレイコントローラ(1ch)のバッテリバックアップモジュールです。

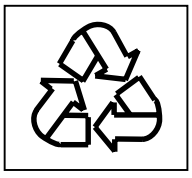
本装置にはニッケル水素電池が搭載されており，リサイクルが可能です。廃棄の際には、「第 2 章 運用・保守」の「3.バッテリの交換手順」に従い本装置を MN8103-80 より取り外してから、各自治体の廃棄ルールに従って分別廃棄して下さい。詳しくは、各自治体にお問い合わせ下さい。また、廃棄についてのお問合せは、本装置をご購入された販売店もしくはご契約されている保守サービス会社へご相談ください。



- 本装置は「第 2 章 運用・保守」を参照して取扱に十分注意してください。

リサイクルについて

本装置にはリサイクル可能なバッテリ（ニッケル水素電池）を使用しています。貴重な資源となりますので、再利用のため最寄りのリサイクル協力店にお持ちください。



目　次

⚠ 安全上のご注意 ～ 必ずお読みください ～ ii
使用上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～ iv
梱包箱の中身について v
製品寿命について v
第三者への譲渡について v
輸送について v
廃棄について v
リサイクルについて v
１．仕様 1
２．本装置の特徴 1
３．構成品 2
４．ハードウェアのセットアップ 3
4.1 作業フロー 3
4.2 ケーブルの確認 3
4.3 本装置のセットアップデートラベルに日付を記入 4
4.4 本装置添付のセットアップデートラベルに日付を記入し、基本装置に貼付 4
4.5 本装置の取り付け 5
4.6 ケーブルの取り付け 5
第２章 運用・保守 6
１．保守サービス 6
２．予防保守 6
３．本装置の交換手順 6
3.1 バッテリの充電回数確認方法 6
3.2 本装置の交換手順 8

＜本書の記号について＞

本書の中には次の 3 種類の記号を使用しています。それぞれの記号は次のような意味をもつものとして定義されています。

装置を取り扱う上で、守らなければいけないことや、特に注意すべき点を示します。

装置を取り扱う上で、確認をしておく必要がある点を示します。

知っておくと役に立つ情報や便利なことを示します。

第１章 概要

本装置を初めてお使いになる場合は、この章からお読みください。
ここでは、本装置の特徴ならびにセットアップについて説明します。

１．仕様

項 目		仕 様	備 考
最大データバックアップ時間		81 時間 *注１	バッテリ満充電時
外形寸法		56(幅)×60(奥行)X15(高)㎜	
質量		約 0.07kg	
動作電圧		3.6V	
消費電力		2.1W	
動作環境	動作時	温度 0℃～45℃ 湿度 20%～80%	結露しないこと
	保管時	温度 0℃～70℃ 湿度 20%～95%	

※本装置は 2 年または充電回数 500 回で交換が必要です。
※本装置は消耗品／有償保守部品です。

２．本装置の特徴

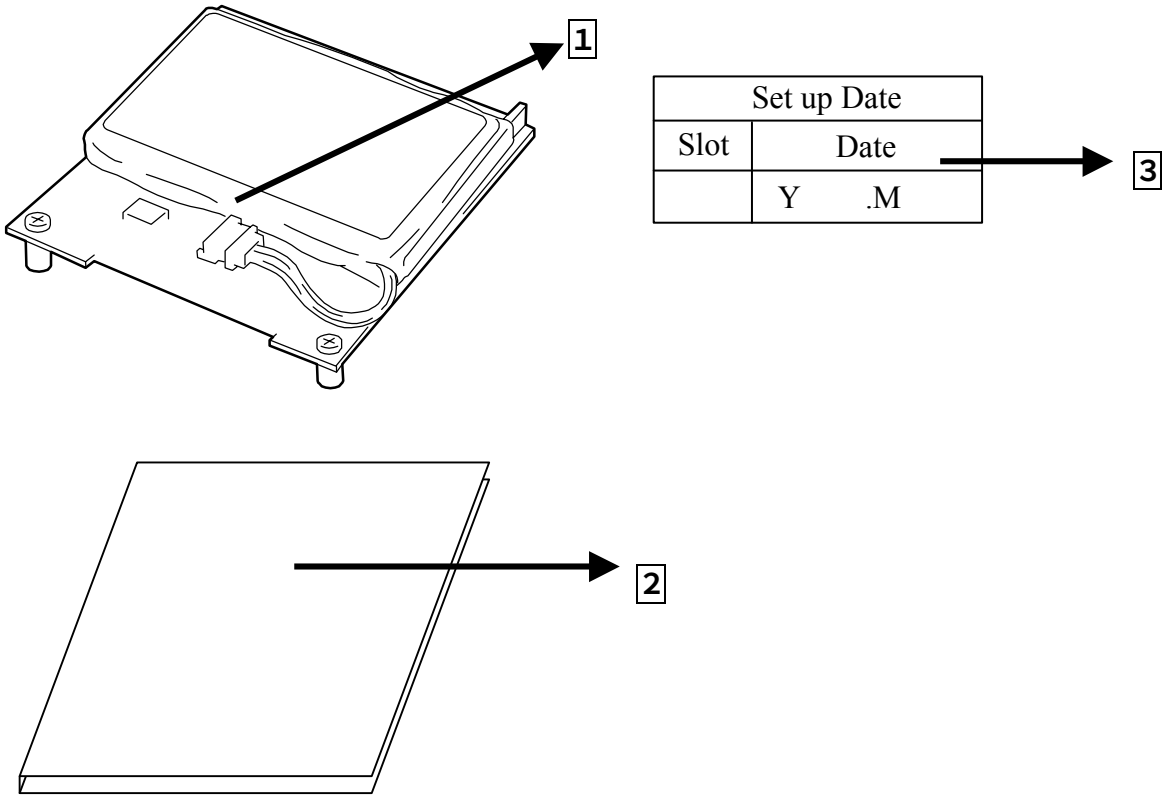
本装置は MN8103-80 ディスクアレイコントローラ(1ch)のオプション部品です。
MN8103-80 ディスクアレイコントローラ(1ch)は増設バッテリを実装する事で、予期せぬ停電などによりデータが失われることを防止することが出来ます。

* 新しいバッテリは充電されておりません。装置起動後、約 6 時間で満充電となります。

３．構成品

梱包箱には次のものが入っています。確認してください。万一、足りないものや破損しているものがありましたら、購入された販売店にご連絡ください。

項番	品名	数量	備考
1	増設バッテリ	1台	
2	MN8103-79 増設バッテリ 取扱説明書	1冊	本書
3	セットアップデートラベル	1枚	



1 増設バッテリ

本装置です、ニッケル水素電池とコントロール基盤からなります。ニッケル水素電池の寿命は 2 年または 500 回の充放電です。

2 MN8103-79 増設バッテリ 取扱説明書

本書です

3 セットアップデートラベル

本装置に添付されているラベルです、日付を記入して基本装置に貼り付けます。

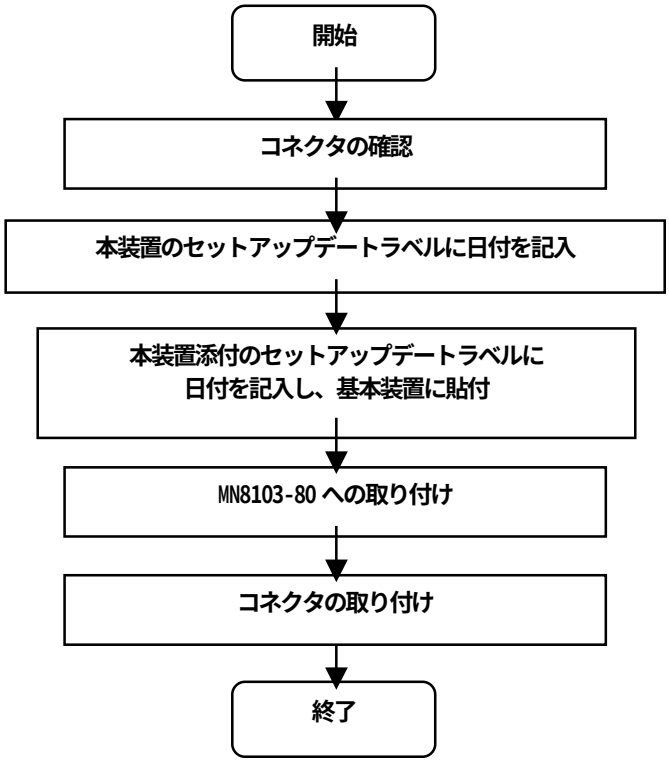
4．ハードウェアのセットアップ

次の手順に従って、本装置を基本装置に取り付けてください。

チェック

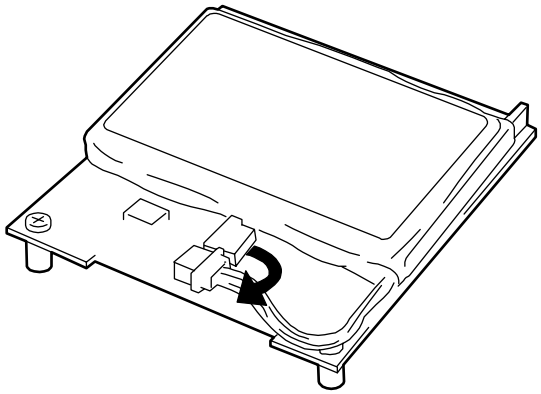
*　作業の前に基本装置に添付のユーザーズガイドもお読みになり、作業を行ってください。

4.1 作業フロー



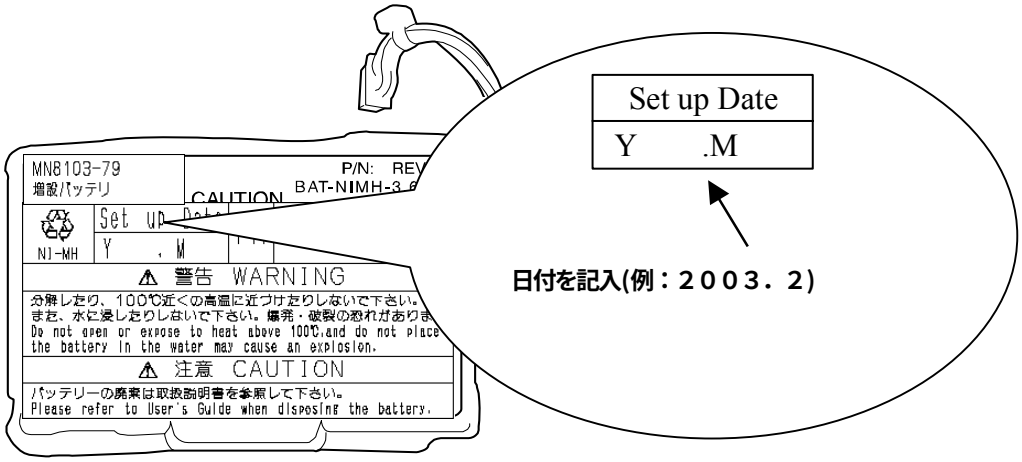
4.2 ケーブルの確認

バッテリとコントロール基盤とを結ぶケーブルが取り外されていることを確認してください。
もし、ケーブルが接続されたままであればケーブルを取り外してください。



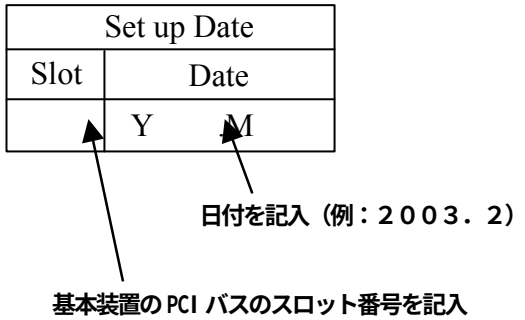
4.3 本装置のセットアップデートラベルに日付を記入

本装置のバッテリに貼付されているセットアップデートラベルに、セットアップした日付を記入してください。



4.4 本装置添付のセットアップデートラベルに日付を記入し、基本装置に貼付

本装置に添付されているセットアップデートラベルに、日付およびディスクアレイコントローラを実装する基本装置のＰＣＩバスのスロット番号を記入し、基本装置の天板等、目に付く場所へ貼り付けてください。

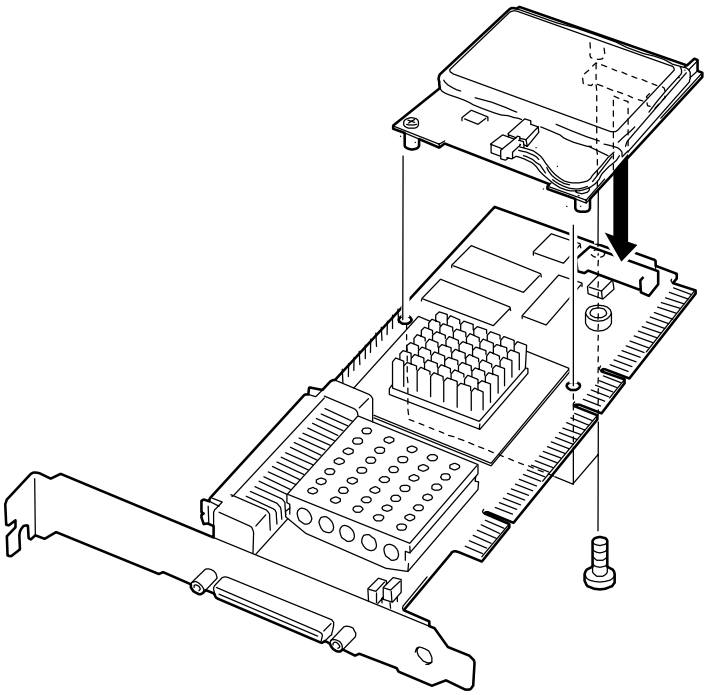


重要

* バッテリの寿命は、使用環境および運用条件によって異なりますが、おおむね 2 年もしくは、充電回数が約 500 回です。年数での判断はバッテリラベルに記載の日付を目安に行ってください。また、充電回数の確認については「第 2 章 運用・保守」の「4.バッテリの交換手順」を参照してください。

4.5 本装置の取り付け

始めに、本装置の裏側にあるスペーサーから止めネジを取り外してください。次に、本装置を MN8103-80 に取り付けます。本装置の裏側にあるコネクタと MN8103-80 のコネクタを接続してください。最後に止めネジを締めて固定してください。

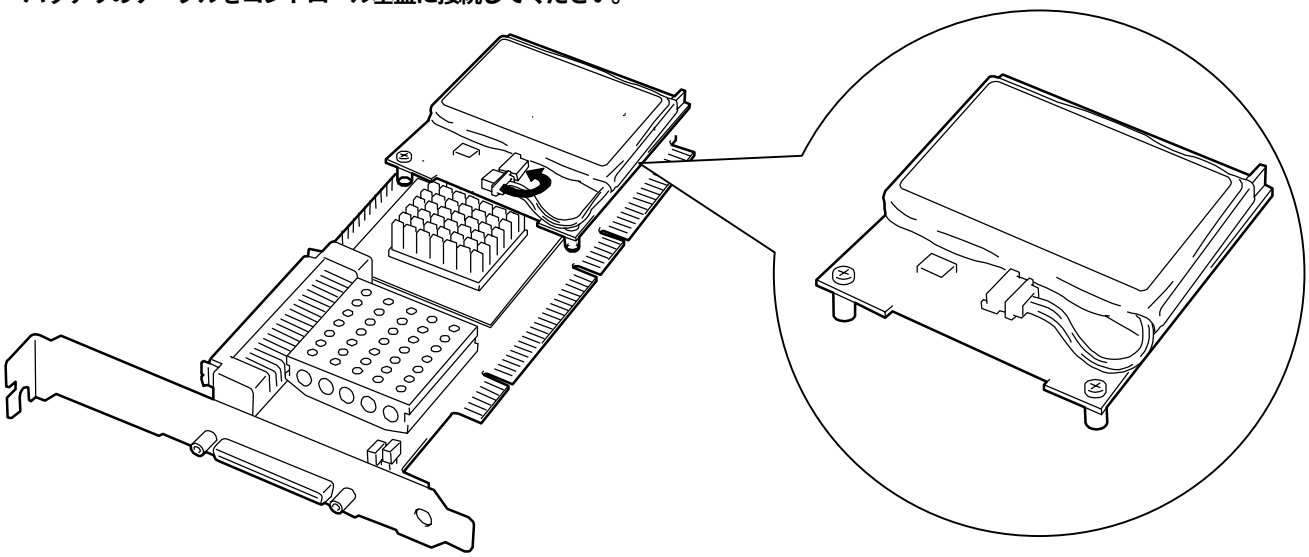


重要

* 取り外したネジははなくさないようにして下さい。

4.6 ケーブルの取り付け

バッテリのケーブルをコントロール基盤に接続してください。



以上で本装置の取り付けは完了です。

第２章 運用・保守

１．保守サービス

保守サービスは弊社の保守サービス会社、および弊社が指定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合にあわせてご利用いただけます。なお、お客さまが保守サービス会社をお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。

２．予防保守

予防保守として、バッテリの充電回数や電圧などを，イベントビューアまたは MegaRAID Configuraion Utility を用いて定期的に確認してください。詳しくは本章の『3.1 バッテリの充電回数確認方法』を参照してください。

３．本装置の交換手順

バッテリの充電回数確認方法および交換方法について説明します。

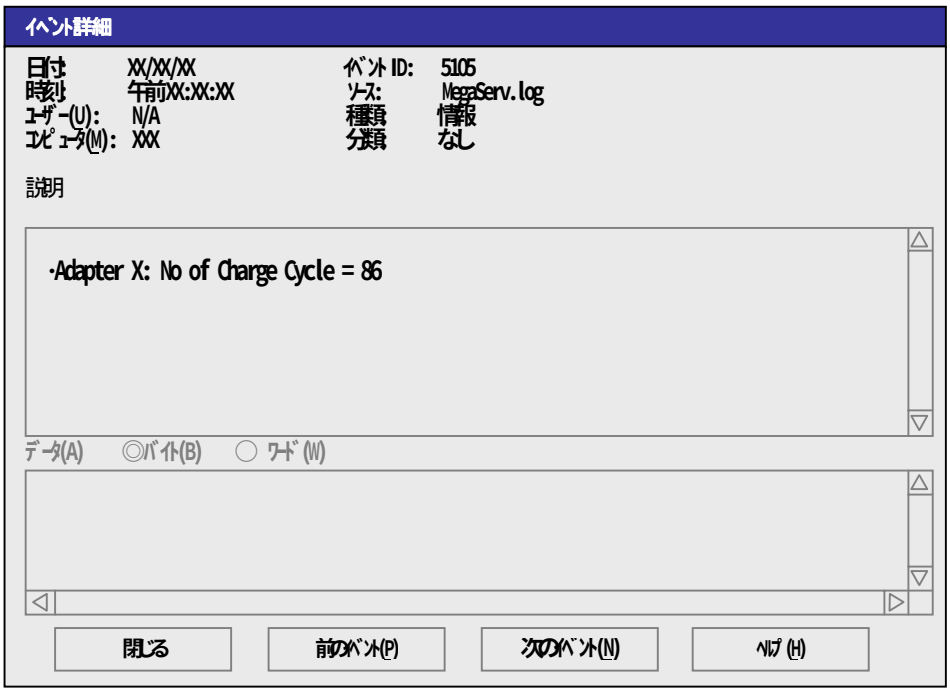
チェック

* **本装置は２年または充電回数 500 回で交換が必要です。**
* **本装置は消耗品／有償保守部品です。**

3.1 バッテリの充電回数確認方法

(1) イベントビューアでの確認方法

Windows2000 を起動し、イベントビューアのアプリケーションログを画面に表示します。表示されたログ一覧の中で、ソースが『MegaServ.log』、イベントが『5105』の最新ログを確認してください。イベント詳細を表示すると以下の画面が表示されます。イベントビューアで充電回数の確認を行うには、Power Console Plus のインストールが必要です。



『説明』のところの「Adapter X: No of Change Cycle =」が充電回数を示しています。（上の画面では 86 回を意味します。）

(2) MegaRAID Configuraion Utility での確認方法

MegaRAID Configuration Utility を起動後、「Objects」→「Battery Information」を選択すると、バッテリの状態が以下のように表示されます。

```
ー： Battery Backup ：ー
Backup Module        = PRESENT
Battery Pack         = PRESENT
Temperature          = GOOD
Voltage              = GOOD
Fast Charging        = COMPLETED
No of Cycles         = 86
 Press Any Key To Continue
```

「No of Cycles = 」が充電回数を示しています。（上の画面では 86 回を意味します）

*** 購入後 2 年および充電回数が 500 回を過ぎた場合は、最大バックアップ時間（81 時間）が保証できなくなります。**

3.2 本装置の交換手順

(1) MN8103-80 から SCSI ケーブルを取り外し、基本装置から MN8103-80 を取り外します。

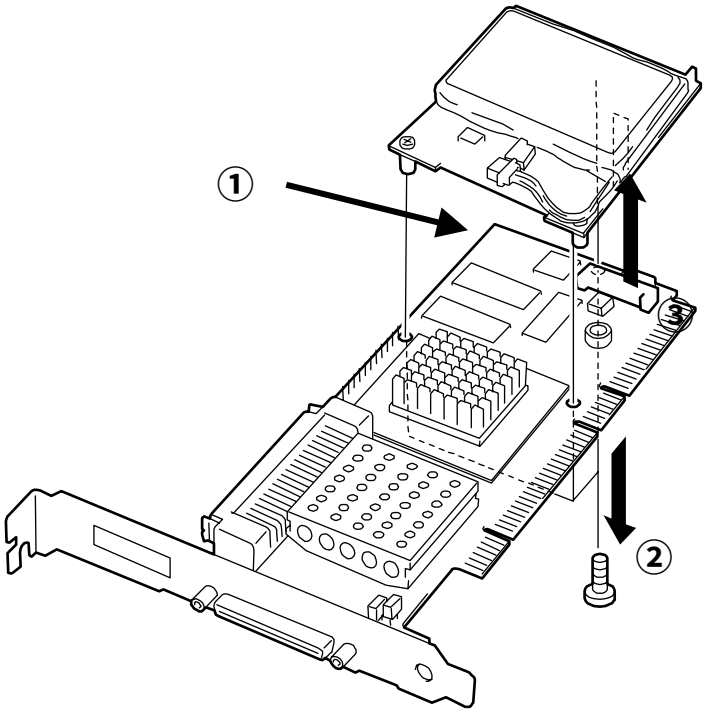
重要

* **MN8103-80 の取り外しまでの作業は、『MN8103-80 ディスクアレイコントローラ(1ch)ユーザーズガイド』を参照して、十分に注意して行ってください。**
* **ディスクアレイコントローラの実装 PCI スロット、SCSI ケーブルの接続関係をメモした後、SCSI ケーブルの取り外し、本体装置からのディスクアレイコントローラの取り外しを行ってください。**

(2) バッテリとコントロール基盤とを接続しているケーブルを取り外します。

(3) 本装置を止めているネジ 3 本を外します。ネジをなくさないよう注意してください

(4) 本装置を MN8103-80 から取り外します。



(5) 次に新しい本装置を MN8103-80 に取り付けます。本装置の取り付けに関する詳細は「第１章 概要」の「4.ハードウェアのセットアップ」を参照して行ってください。

(6) 本体装置へ MN8103-80 を取り付けます。

(7) 本体装置を起動し、MegaRAID Configuration Utility を立ち上げます。

(8) バッテリの充電回数をクリア

TOP メニューより、「Objects」→「Reset Battery Charge Counter」を選択し、「Yes」を選択するとクリアされます。詳細は『MN8103-80 ディスクアレイコントローラ(1ch) ユーザーズガイド』の「第 4 章 3.6 その他」を参照してください。

重要

* **交換した新しいバッテリは充電されておりません。装置起動後、約 6 時間で満充電となります。バッテリが満充電になってから Write Back 機能を使用してください。**

以上で、交換は終了です

MN8103-79
増設バッテリ
取扱説明書
856-840047-279-0
発行：2003 年 2 月 初版

このマニュアルは再生紙を使用しています。